

# みやけの風

## 第 29 号

平成 13 年(2001年) 5 月 12 日(土)発行  
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター  
 発行責任者：上原 泰男  
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ10階  
 東京ボランティア・市民活動センター 気付  
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646  
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

「連休中はどうしただよ」「ん～。まあ、ちっとは休まねえとな」「だから。走りっぱなしじゃ体をダメにしっからよ」「おうよ。けっこう無理してきたからなあ」「同じ無理しんでもよ、土いじっている時はちがったぞ。ナスだピーマンだって、この時期にゃ植えたじよ」「芋もせえたし、お茶も摘んだじよ～」いろいろ思い出す春ですね。

### みんなの声

#### (1) 詩、お送りします

噴火災害も季節では一回り、早く収まることを願う中、センターのささえが何よりです。詩、お送りします。

夏にあり、秋、冬がすぎ、木の芽ふき

この時期は五風十雨、野山と海が待っている

それぞれにむだなく過ごす、昨日、今日、明日

全員帰島で活かすその時《歲月、人を待たず》

こみちまで闇を運んできた猫に君もひとり？とたずねる日暮れ（埼玉高 熊谷玲）

（豊洲 風のたより より）

#### (2) 子どもガーデンパーティ

私たち六郷住宅では、4月22日(日)に大田区青少年対策地区委員会主催の「子どもガーデンパーティ」のご招待を受け、数名で参加いたしました。今年で50回目だそうで、場所は多摩川沿いの六郷土手、とても広々とした会場で多くの家族連れでにぎ

わい、お天気もよくなりとても気持ちのよい日でした。郷土に伝わるとんび凧が、本物のように風によくなびいているのを見たり、子ども達による太鼓の披露などほほえましい姿を見せていただきました。

（大田区六郷三宅会 松岡 靖恵）

#### 東京センターからのお知らせ

### 三宅島災害パネル展への写真大募集

東京センターでは、この三宅島噴火災害をより多くの方たちに知っていただき、ともに支えていただくため、三宅島災害パネル展を全国に提案していこうと、展示パネルセットの作成に取り組んでいます。すでに都災対・三宅村役場・三宅支庁からは写真の提供をいただけることになりましたが、島民の方々にもぜひご参加いただきたくお手持ちの写真の提供にご協力いただきますようお願い申し上げます。

写真の内容：三宅島災害とそれにかかわる島民の姿

期 限：5 月末日

形 態：紙焼きプリントされた写真または、デジタル写真データ

【ご注意】 お寄せいただいた写真につきましては、返却できませんのでご了承ください。東京センターにて、記録資料として責任もって保管させていただきます。

**(3) 下田より**

こんにちは、

本日、浜崎小学校では遠足で、隣村の須崎と言う所の恵比寿島までいきます。浜遊びなので、磯物を取って、味噌汁を作る。これは、三宅といっしょです。磯物も、島と同じ物がありますので、島おじやでも食べられますよ。

ここ、下田は伊豆七島が見え、また、三宅島が噴いていると良い天気の日には肉眼で見ることができます。見えてよいのか悪いのか・・・と思う事もあります。

ここは静岡なので東京の番組は見られません。しかし、隣村に行くと(須崎)新島から電波をとっているのです、東京の番組が見れます。

三宅島と下田のつながりって昔をたどっていくとあるのです。

(静岡県下田市 池田 弘子)

**とびだせセンター特集**

三宅島支援東京センターでは、島民の方々を避難先の地域にお訪ねして、今をどのように過ごしていらっしゃるかをしっかりと見守るため「とびだせセンター」を積極的にすすめています。最近うかがったところの様子を、お会いした島の方の声とあわせて、特集でお送りいたします。

**(1) 南大沢福祉センター**

八王子南大沢で、鈴木則子さんが呼びかけ人になって「出会いを楽しむ会」が開かれるということで、参加させていただきました。会場となったのは、南大沢福祉センター内の和室でカラオケの設備もあり、皆

さん「久しぶりに思い切り声を出せて気持ちよかった」と楽しそうでした。わかやか体操やあしたば音頭、最後には島節の掛け合いにあつという間に3時間が過ぎました。(ウ)

**参加者の声**

避難して初めて、みんなのまえで歌えてうれしかったです。(八王子市 山本敬子)

次回の集まりは、5月20日(日)9:00~12:00。6月は10日(日)、24日(日)、いずれも13:00~16:00です。皆さんとの出会いを楽しみにしています。(鈴木 則子)

**(2) 都立産業技術研究所施設公開**

4月20日(金)・21日(土)と都立産業技術研究所の施設公開に行ってきました。三宅島の火山灰を利用した、三宅ガラス・レンガ・コンクリート・陶芸・染色技術や、火山灰の畑や海への影響に関する研究のパネルなど、三宅島の今後につながるような興味深い発表ばかりでした。(坂(由))

**参加者の声**

三宅島の灰を使ってガラス、焼き物、織物等の展示があるというので、行ってみました。中略 あのセメントの粉のようなやっかい者の灰が利用の仕方でのこのようになるのかと思うと、不思議な気持ちになり、これから三宅の復興にきっと役立って欲しいと思いました。(西野園芸 西野 悦子)

**東京センターより**

次回、第11回三宅島島民連絡会会議の日程は、以下のとおりです。

日時：5月19日(土)13:00~  
場所：飯田橋セントラルプラザ 11階会議室

**三宅島噴火災害動物救援センターからボランティア募集のお知らせ**

救援センターでは、収容された犬猫の保護のため手伝いをしてくださるボランティアの方を募集しています。犬猫の世話は、専門的知識をもったチーフと呼ばれる職員がご指導いたします。

お問合せ先：三宅島噴火災害動物救援センター(東京都日野市)

Tel/Fax : 042-587-0546 担当：三島(みしま)